

住宅改修・事例紹介 7

はんどで施工した事例をご紹介します。
ぜひ、参考資料としてお役立て下さい。



安全に入浴できるようにしたい

このようなことでお困りでした

ご主人と息子家族と同居で暮らしています。左大腿骨骨折後にリハビリを行いました。気持ちの落ち込みもあり、ADLの低下が著しい状態でした。自宅での入浴は、ご主人が介助していらっしゃるのですが、転倒に対する不安が強い様子。『安心して入浴できるように、浴室に手すりをつけてほしい』とご相談いただきました。



Y様（女性）80代
要介護3

数年前に左大腿骨を骨折し入院されました。それ以来、歩行状態が悪く室内移動には歩行器を使用していらっしゃいます。

Before & After

Before



After



POINT

住宅改修で手すりを取り付けるだけでなく、ご本人様の状態や、介護状況によって、福祉用具を有効に活用することで、より安全に入浴できるようになります。



浴槽台



シャワーチェア

手すりが無い状態で、浴槽への出入りをされていました。立位で、浴槽をまたいでいたので、ふらついて転倒しそうになっていました。出入りや立ち座りが楽になるように、浴槽出入り用に横手すり、浴槽内の立ち座り用にL字型手すりを取り付けました。

POINT

浴室の手すりの役割は、浴室内移動、入浴用いす等の立ち座り、浴槽またぎ、浴槽内立ち座りなどがあります。それぞれの動作をきちんと確認し、手すりの位置を決めましょう！

After



Y様は、シャワーチェアに座ったまま身体を回転させ座位で浴槽をまたいで入浴するので、横手すりを取り付けました。

After



L字型手すりがあると、浴槽内の立ち座りが楽になります。また横手すりは、入浴姿勢を安定させる役目もあります。

施工後の感想

浴室の床は滑りやすく、転倒に対する不安がとても大きかったのですが、手すりを取り付けて、シャワーチェアや浴槽台を設置したことで、動作の一つ一つが安定しました。これで、1年を通して安心して入浴できます。介護してくれている夫の負担も減ったので、よかったです！

